



栃木県議会議員 大貫

タケシ
毅

2025 年 秋号
政務活動報告



9月18日から10月9日まで、第408回通常会議が行なわれ、令和7年度一般会計補正予算、各種条例改正、「学校施設環境改善交付金事業に関する意見書」「地方財政の充実・強化に関する意見書」などの審議を行ないました。一般質問には民主市民クラブからは山田みやこ議員が代表質問に登壇し、「人口減少対策とジェンダーギャップ解消について」「災害から県

《今議会での主な補正予算》

★私立学校給食費保護者負担軽減事業費 17,133千円

私立学校における給食食材費の高騰分に対する助成
・対象校 3校（小学校、中学校）

★私立幼稚園等給食費保護者負担軽減事業費 397,800千円

私立幼稚園等における給食食材費の高騰分に対する助成
・対象施設 707施設（私立幼稚園、認定こども園、私立保育所等）

★ものづくり産業生産性向上支援事業費 101,107千円

米国関税措置の影響を受けるものづくり中小企業者等への支援に要する経費。機械装置費、工事費、システム導入費等、中小企業等の生産性向上を支援。補助率は中小企業1/2以内、中堅企業1/3以内補助限度額10,000千円。

★産業活性化金融対策費 3,030,400千円

米国関税措置の影響を受ける中小企業者等の資金需要に対応するための「米国関税緊急対策資金」（融資制度）の創設。

★重点医師偏在対策支援区域診療所承継・開業支援事業費 349,000千円

県北・県西医療圏における医療提供体制確保のための診療所の承継・開業に対する助成

★若い世代向け少子化対策情報発信強化事業費 11,737千円

少子化対策に関する若い世代向けの情報発信の強化。

1 特設ページ制作費 10,527千円

事業内容 特設ページに誘導するためのデジタル広告の配信

2 SNS広告配信費 1,210千円

事業内容 少子化対策や県内企業を紹介する関連サイト情報を一元化したウェブページの制作

民や地域を守る体制の充実について」「子どもの自殺対策について」など6項目にわたり当局の見解を問いました。

令和7年度一般会計補正予算は私たち民主市民クラブも賛成し、賛成多数で可決されました（左表参照）。補正予算の主な目的は、「米国関税措置・物価高騰への対応」「人口減少対策の推進」「安全で安心な暮らしの実現」となっています。

「地方財政の充実・強化に関する意見書」などの意見書を採択

県議会として、内閣総理大臣と関係大臣に3つの意見書の提出を決めました。以下、意見書の趣旨です。

①「学校施設環境改善交付金事業に関する意見書」

学校施設の老朽化がピークを迎える中、自治体が教育環境の改善と老朽化対策を着実に進めて行けるよう「学校施設環境改善交付金事業」の予算を十分に確保することを求める。

②「我が国における食料安全保障の根幹を担う農産物の安定供給かつ持続可能な生産の確保を求める意見書」

生産コストを反映した米を含む農産物価格保障制度の構築など食料安全保障の根幹を担う農産物の安定供給かつ持続可能な生産の確保を求める。

③「地方財政の充実・強化に関する意見書」

地域の多様な実情に即した質の高い公共サービスを持続的に提供するためには、地方分権の推進と、その基盤となる地方財政の確立が不可欠であり、地方の役割と責任に見合った十分な税財源を確保し、税収が安定的な地方税体系と地方が自由に使える財源の拡充につながる地方税財政制度を構築することを求める。

議会あり方検討会を設置

議員定数等の検討、主権者教育の推進や広報広聴の充実など県民により身近で開かれた県議会の実現に向け、各会派から13人の委員を選出し、「議会あり方検討会」が設置されました。

県政を
身近に!



双方向の意見交換で市民が主役の政治を目指します! どなたでも参加できます。参加費無料、申し込み不要。

第35回タウンミーティング（対話集会）開催します!

とき 11月30日(日)14時～16時 私たちが参加予定です。

ところ 市民情報センター2階・子育て情報室

内容 「令和の米騒動の原因と今後の課題」

米問題について、徳永エリ参議院議員より問題提起を頂き、皆さんと意見交換します。

いつも通り県政・市政報告、自由意見交換も行ないます。



大貫 毅県議

船生雅秀市議

駒場久和市議

問い合わせ 大貫タケシ事務所 0289-74-7311

栃木県議会 文教警察委員会視察報告

広島県教育委員会「SCHOOL“S”」、広島県警本部「AI機能搭載防犯カメラ」岡山県立岡山工業高校「スマート専門校事業」を視察しました。

9月3日から5日、私の所属する文教警察委員会で県外視察を行ないました。

○広島県教育委員会「SCHOOL“S”」
不登校や不登校傾向にある児童生徒に対して安心して学べる居場所の提供、自立に向けた成長を支援するために令和4年に設置された施設。SCHOOL“S”の“S”には、Student（子ども中心）、Select（自分で選ぶ）、Secret（秘密基地のような安心感）、Space（自由な空間）の意味が込められています。取り組みを通じて、改めて学校のあり方が問われていると感じました。

○「AI機能搭載防犯カメラ」
広島県中区の繁華街「流川・薬研堀地区」に30台のカメラが設置されています。AI機能によって、通話音声の文字起こしや通報内容の分析と緊急度判定が行えるとのことでした。これにより初動対応の迅速化と犯人検挙率の向上が期待されていますが、何よりもカメラが設置されていることによる犯罪の抑止に大きな効果が現れているようです。

○岡山工業高校「スマート専門校事業」
「スマート専門校事業」とは、専門高校においてデジタル化対応装置の環境を整備することにより、最先端の職業教育を行う「スマート専門高校」を実現し、デジタルトランスフォーメーション等に対応した地域の産業界を牽引する職業人材を育成することを目的にした事業です。生徒が最先端の技術に触れ、実践的なスキルを身に付けられる環境が整備されています。



広島県教育委員会「SCHOOL“S”」



AI機能搭載防犯カメラの設置場所



岡山県立岡山工業高校

民主市民クラブ2025(令和7)年度 県中間期予算及び政策推進に関する要望書



知事に要望書を提出(写真上)し、記者発表(写真下)を行いました。

県議会では、年2回知事に対して各会派から予算等に関する要望を提出します。民主市民クラブでは、8月26日に、人口減少対策など26項目にわたる予算及び政

策推進に関する要望書を知事に対して提出しました。9月9日には知事より回答を得ました。以下、私（大貫毅）が担当した部分を中心に要旨のみを報告します。

（要望）少子高齢化対策など増大する行政需要に対応するよう地方一般財源総額の確保・充実を国に求めること。

（回答）地方にとって必要不可欠な財政需要を地方財政計画において的確に計上するよう要望する。

（要望）「栃木県森林作業道作設指針」の充実を図り、災害を引き起こさない林業を確立すること。鹿沼商工と鹿沼南高が統合され設置される鹿沼華陵高校にも林業コースを設け、充実を図ること。

（回答）「栃木県森林作業道作設指針」のポケット版の作成、林業経営体等に対する研修を行い災害に強い道づくりを進める。新校に設置する農林科学科において検討していく。

（要望）施設園芸農業において資材費の高騰による初期導入費用の上昇は大きな参入障壁となっている。助成等の拡充を図ること。

（回答）新規就農者の経営開始に必要な施設・機械の導入や中古施設の有効活用等に対して引き続き支援していく。

（要望）宇都宮鹿沼道路（さつきロード）の無料化の方針を早急に示すこと

（回答）有識者懇談会からの提言を踏まえ適切に対応していく。

※後日、2026年3月18日から無料化する方針が県から示されました。